

「ナガサキ・ユース代表団」 の挑戦

第二期生メンバーによる
活動のごく一部を紹介します

2014 Members

ナガサキ・ユース代表団・第2期生
(肩書き、学年は2014年5月時点のもの)

(写真左から)山中智絵(長崎大学薬学部2年)、
橋口優乃(長崎大学経済学部3年)、新崎さくら
(長崎大学教育学部2年)、宮田美波(長崎
大学医学部保健学科3年)、堀真理子(長崎大
学経済学部4年)、前川陽香(長崎大学経済学
部4年)、田平由布子(長崎大学経済学部4年)、
西田千紗(長崎大学医学部医学科2年)



1 出発前

ワークショップ 「核兵器のない世界を想像してみよう」

在ニューヨークの軍縮教育家キャサリン・サリバンさんや広
島平和文化センター前理事長のステイブン・リーパーさんを
講師に、ディスカッション、フィールドワークなど多彩なプログ
ラムを盛り込んだ3日間の参加型ワークショップを受講。

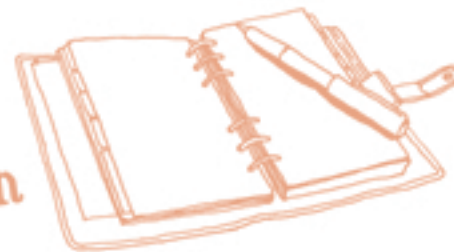
連続講座「ナガサキを学ぶ」(全5回)

平和学習の「出前講座」を行っている「ピースバトン・ナガ
サキ」のスタッフによる連続講座を受講。長崎原爆の実相やそ
の背景を「座学」で学び、「さるく」(長崎弁で「まちをぶらぶ
ら歩く」の意)で被爆遺構をめぐる。

連続勉強会「英語で 読み解く核問題」(全7回)

実際に国際会議で使われた各国政府の演説や国際NGOの
英文レポートを題材に、核問題の基本概念や専門用語を学び、
最新情勢について議論しました。

Education



このほかにも、長崎を訪問したペルーの
エンリケ・ロマン=モレイ大使(NPT再
検討会議第3回準備委員会議長)との意
見交換会や、日本の外交官、国際NGO
スタッフなどを講師に迎えた勉強会を行
いました。

2 ニューヨークでの活動

日々の新しい発見や出会い、率直な思いを8人がそれぞれブログで毎日発信しました。
「ナガサキ・ユース代表団 公式 Facebook ページ」
<https://www.facebook.com/nagasakiyouth>

政府間会議の傍聴

連日開かれる本会議場での政府間会議はすべて傍聴
可。淡々とした演説の中にも各国それぞれの思惑が飛び交
い、新しい展開やさまざまなドラマが見え隠れしています。

本会議中の「NGO 意見表明セッション」では、市民社会
の代表が各国政府を前に意見を述べます。長崎市長や被爆
者、若者代表も発言します。ユースメンバーは欧米の若者
NGO と協力し、若者演説の文案作りに参加しました。

公式ステートメントを読んで興味をもったコスタリ
カ。その後に政府関係者に直接お会いし、聞いて
みたかった「非核兵器地帯条約加入のメリット」な
どを尋ねることができました。



ネットワーキング

準備委員会の場には、100か国以上の政府や国際機関
の関係者だけでなく、核問題に関心を持つ世界各地の人
々が集結します。この機会を最大限に活かそうと、ユース
メンバーは、潘基文事務総長をはじめとする国連関係者、
外交官、NGO関係者らと、連日多くの意見交換の場を持
ちました。「平和首長会議」などNGO主催の国連内会議
や政府主催レセプションでプレゼンやスピーチの機会もあ
りました。在NYのNGOや被爆者と一緒に現地の高校も
訪問しました。加えて大きな成果は、世界各国から参加し
た若者たちとの交流を深めたことです。今後に繋がるたく
さんの出会いがありました。

また、そうしたさまざまな出会いを他の人々との共有で
きるよう、ユースメンバーは「2015年までに実現したい
目標」を会議参加者にインタビューし、メッセージビデオを
作成しました。



▲本会議場の様子



▲政府関係者と対話する世界の若者たち



▲ロマン・モレイ議長(右)